

**【表紙】**

**【提出書類】** 四半期報告書

**【根拠条文】** 金融商品取引法第24条の4の7第1項

**【提出先】** 北陸財務局長

**【提出日】** 平成24年11月13日

**【四半期会計期間】** 第101期第2四半期(自平成24年7月1日至平成24年9月30日)

**【会社名】** 小松精練株式会社

**【英訳名】** KOMATSU SEIREN CO.,LTD.

**【代表者の役職氏名】** 代表取締役社長 池田 哲夫

**【本店の所在の場所】** 石川県能美市浜町又167番地

**【電話番号】** 0761-55-1111(代表)

**【事務連絡者氏名】** 経理部長 早瀬 智

**【最寄りの連絡場所】** 石川県能美市浜町又167番地

**【電話番号】** 0761-55-1111(代表)

**【事務連絡者氏名】** 経理部長 早瀬 智

**【縦覧に供する場所】** 株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

回次		第100期 第2四半期 連結累計期間		第101期 第2四半期 連結累計期間		第100期	
		自 至	平成23年4月1日 平成23年9月30日	自 至	平成24年4月1日 平成24年9月30日	自 至	平成23年4月1日 平成24年3月31日
売上高	(百万円)		19,429		18,263		37,218
経常利益	(百万円)		1,368		1,049		2,396
四半期(当期)純利益	(百万円)		873		796		1,435
四半期包括利益又は包括利益	(百万円)		802		231		1,367
純資産額	(百万円)		29,880		30,261		30,187
総資産額	(百万円)		43,444		44,080		43,439
1株当たり四半期(当期) 純利益金額	(円)		20.49		18.64		33.66
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額	(円)						
自己資本比率	(%)		66.79		66.73		67.52
営業活動による キャッシュ・フロー	(百万円)		988		495		3,069
投資活動による キャッシュ・フロー	(百万円)		607		22		2,409
財務活動による キャッシュ・フロー	(百万円)		470		10		727
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高	(百万円)		6,989		7,477		7,008

回次		第100期 第2四半期 連結会計期間		第101期 第2四半期 連結会計期間	
		自 至	平成23年7月1日 平成23年9月30日	自 至	平成24年7月1日 平成24年9月30日
1株当たり四半期純利益金額	(円)		9.25		13.89

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

## 2 【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社及び当社の関係会社が営んでいる事業の内容に重要な変更はありません。

また、主要な関係会社の異動は、以下のとおりであります。

### (繊維事業)

当第2四半期連結会計期間において、紳士服の製造販売会社である株式会社パッツの全株式を取得し、連結子会社にしております。

この結果、平成24年9月30日現在では、当社グループは当社、子会社7社及び関連会社2社により構成されることとなりました。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

### 2 【経営上の重要な契約等】

当社は平成24年7月30日開催の取締役会において、株式会社パizzoの全株式を取得し、子会社化することを決議し、同日付けでパizzoの全株式を譲り受ける株式譲渡契約を締結しました。

詳細につきましては、「第4 経理の状況 1 四半期連結財務諸表 注記事項（企業結合関係）」に記載のとおりです。

### 3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

#### (1)業績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要等を背景とする緩やかな回復の兆しがみられたものの、長引く円高や欧州を中心に債務問題による世界的な金融不安の拡大、更には中国をはじめとする世界経済の減速等により、先行きに対する不透明感が急速に強まっております。

このような状況のなか、当社グループは「挑戦と変革」を掲げ、市場に新しい価値の提供と収益拡大による成長戦略を図りました。しかしながら、特に海外においては世界経済の低迷による影響は避けられず、売上、利益共に予想を下回る結果となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、18,263百万円（前年同期比6.0%減）となり、営業利益は863百万円（前年同期比33.2%減）、経常利益は1,049百万円（前年同期比23.3%減）、四半期純利益は796百万円（前年同期比8.9%減）となりました。

事業のセグメント別状況は以下の通りであります。

#### 繊維事業

衣料ファブリック部門は、当社の得意とする高感性・高機能素材の開発と積極的な市場導入を図りましたが、国内消費の低迷や欧州経済の混乱等の影響を受け国内外共に減少しました。特に海外のスポーツ市場の冷え込み等による影響は大きく、スポーツ衣料が大幅ダウンしました。

資材ファブリック部門は、車輻分野が順調に拡大するも、国内消費低迷の影響等を受け総じて減少しました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の当事業の売上高は17,731百万円（前年同期比6.3%減）、セグメント利益（営業利益）は781百万円（前年同期比34.3%減）となりました。

#### その他の事業

物流分野が堅調に推移し、当第2四半期連結累計期間の当事業の売上高は532百万円（前年同期比4.2%増）、セグメント利益（営業利益）は受注内容の変化もあって76百万円（前年同期比20.8%減）となりました。

## (2) キャッシュ・フロー状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物の残高は、前第2四半期連結累計期間に比べ488百万円増加し、7,477百万円となりました。

### [営業活動によるキャッシュ・フロー]

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益1,130百万円、減価償却費612百万円及びたな卸資産の減少349百万円などの収入から、売上債権の増加914百万円などの支出を差し引いた結果、495百万円の収入となりました。(前年同期比492百万円収入減)

### [投資活動によるキャッシュ・フロー]

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、有価証券の取得3,830百万円及び定期預金の預入3,105百万円などの支出から、有価証券の償還6,130百万円などの収入を差し引いた結果、22百万円の支出となりました。(前年同期比584百万円支出減)

### [財務活動によるキャッシュ・フロー]

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払256百万円などの支出から、短期借入金の増加148百万円などの収入を差し引いた結果、10百万円の支出となりました。(前年同期比459百万円支出減)

## (3) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間の研究開発費の総額は294百万円であります。

### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	100,000,000
計	100,000,000

###### 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成24年9月30日)	提出日現在 発行数(株) (平成24年11月13日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	43,140,999	同左	東京証券取引所 市場第一部	単元株式数は1,000株であります。
計	43,140,999	同左		

(注)完全議決権株式であり、権利内容に何ら限定のない株式であります。

##### (2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (千株)	発行済株式 総数残高 (千株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金 残高 (百万円)
平成24年9月30日		43,140		4,680		4,720

(6) 【大株主の状況】

平成24年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
東レ株式会社	東京都中央区日本橋室町2丁目1番1号	2,649	6.14
日本トラスティ・サービス信託 銀行株式会社(信託口)	東京都中央区晴海1丁目8番11号	2,510	5.82
株式会社北國銀行	石川県金沢市下堤町1番地	2,113	4.90
小松精練松栄会	石川県能美市浜町又167番地	1,527	3.54
日本生命保険相互会社	東京都千代田区丸の内1丁目6番6号	1,467	3.40
株式会社北陸銀行	富山県富山市堤町通り1丁目2番26号	1,263	2.93
三菱商事株式会社	東京都千代田区丸の内2丁目3番1号	1,250	2.90
三井住友信託銀行株式会社	東京都千代田区丸の内1丁目4番1号	1,230	2.85
株式会社クラレ	岡山県倉敷市酒津1621番地	1,090	2.53
日本マスタートラスト信託銀行 株式会社(信託口)	東京都港区浜松町2丁目11番3号	1,082	2.51
計		16,183	37.51

(注) 上記の所有株式数のうち、信託業務に係る株式数は、次のとおりであります。

日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 2,510千株

日本マスタートラスト信託銀行株式会社 1,082千株

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成24年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 244,000		
完全議決権株式(その他)	普通株式 42,563,000	42,563	
単元未満株式	普通株式 333,999		
発行済株式総数	43,140,999		
総株主の議決権		42,563	

【自己株式等】

平成24年9月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 小松精練株式会社	石川県能美市浜町又167番地	244,000		244,000	0.57
計		244,000		244,000	0.57

(注) 株主名簿上は当社名義となっておりますが、実質的に所有していない株式が1,000株(議決権1個)あります。

2 【役員状況】

前事業年度の有価証券報告書の提出日後、当四半期累計期間における役員の異動はありません。



## 第4 【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間(平成24年7月1日から平成24年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成24年4月1日から平成24年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】  
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,455	7,460
受取手形及び売掛金	1 8,203	1 9,215
有価証券	5,980	4,280
商品及び製品	2,051	2,080
仕掛品	818	824
原材料及び貯蔵品	2,154	1,965
繰延税金資産	255	279
その他	144	426
貸倒引当金	47	56
流動資産合計	27,014	26,474
固定資産		
有形固定資産	8,232	8,169
無形固定資産		
のれん	44	27
その他	204	251
無形固定資産合計	249	279
投資その他の資産		
長期預金	-	1,000
投資有価証券	6,578	5,766
繰延税金資産	1,051	1,347
その他	315	1,058
貸倒引当金	2	15
投資その他の資産合計	7,943	9,157
固定資産合計	16,425	17,605
資産合計	43,439	44,080

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1 6,564	1 6,665
短期借入金	99	349
未払法人税等	647	353
賞与引当金	381	458
その他の引当金	-	265
その他	1 1,575	1 1,231
流動負債合計	9,268	9,323
固定負債		
長期借入金	-	353
退職給付引当金	3,469	3,435
役員退職慰労引当金	366	516
環境対策引当金	11	11
負ののれん	15	11
その他	121	167
固定負債合計	3,983	4,495
負債合計	13,252	13,818
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	4,680	4,680
資本剰余金	4,720	4,720
利益剰余金	20,278	20,802
自己株式	221	107
株主資本合計	29,458	30,096
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	136	437
為替換算調整勘定	265	243
その他の包括利益累計額合計	129	680
少数株主持分	858	844
純資産合計	30,187	30,261
負債純資産合計	43,439	44,080

## (2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	19,429	18,263
売上原価	15,569	14,836
売上総利益	3,860	3,426
販売費及び一般管理費	1 2,566	1 2,563
営業利益	1,293	863
営業外収益		
受取配当金	56	62
持分法による投資利益	113	82
その他	125	122
営業外収益合計	296	267
営業外費用		
支払利息	0	0
為替差損	189	54
その他	30	27
営業外費用合計	221	82
経常利益	1,368	1,049
特別利益		
固定資産売却益	-	0
投資有価証券売却益	0	67
負ののれん発生益	-	117
特別利益合計	0	185
特別損失		
固定資産売却損	0	-
固定資産除却損	4	5
投資有価証券売却損	62	86
その他	0	13
特別損失合計	67	104
税金等調整前四半期純利益	1,300	1,130
法人税、住民税及び事業税	362	335
法人税等調整額	27	25
法人税等合計	390	361
少数株主損益調整前四半期純利益	909	769
少数株主利益	35	27
四半期純利益	873	796

【四半期連結包括利益計算書】  
 【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	909	769
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	114	574
為替換算調整勘定	7	36
持分法適用会社に対する持分相当額	0	0
その他の包括利益合計	107	537
四半期包括利益	802	231
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	763	245
少数株主に係る四半期包括利益	38	13

## (3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,300	1,130
減価償却費	645	612
負ののれん発生益	-	117
貸倒引当金の増減額(は減少)	37	20
その他の引当金の増減額(は減少)	280	247
退職給付引当金の増減額(は減少)	197	49
持分法による投資損益(は益)	113	82
受取利息及び受取配当金	79	89
支払利息	0	0
投資有価証券売却損益(は益)	62	18
固定資産除売却損益(は益)	4	4
売上債権の増減額(は増加)	1,461	914
たな卸資産の増減額(は増加)	473	349
仕入債務の増減額(は減少)	513	26
その他	555	100
小計	1,001	1,057
利息及び配当金の受取額	84	93
利息の支払額	0	0
法人税等の支払額	97	653
営業活動によるキャッシュ・フロー	988	495
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	118	3,105
定期預金の払戻による収入	189	2,091
有価証券の取得による支出	4,290	3,830
有価証券の償還による収入	4,330	6,130
投資有価証券の取得による支出	157	177
投資有価証券の売却による収入	54	160
固定資産の取得による支出	639	698
固定資産の売却による収入	1	0
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	-	494
長期貸付けによる支出	-	100
その他	23	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	607	22
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(は減少)	211	148
配当金の支払額	256	256
自己株式の取得による支出	2	1
自己株式の処分による収入	0	99
財務活動によるキャッシュ・フロー	470	10
現金及び現金同等物に係る換算差額	2	6
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	86	469
現金及び現金同等物の期首残高	7,018	7,008
連結子会社の非連結子会社合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	57	-
現金及び現金同等物の四半期末残高	1 6,989	1 7,477

【連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更】

当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日至平成24年9月30日)
連結の範囲の重要な変更 当第2四半期連結会計期間より、紳士服の製造販売会社である株式会社パizzoの全株式を取得し、連結子会社にしております。

【会計方針の変更等】

当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日至平成24年9月30日)
(会計上の見積りの変更と区分することが困難な会計方針の変更) 当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。これによる損益の影響額は軽微であります。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

- 1 四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理しております。
- なお、当四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形が、四半期連結会計期間末日残高に含まれております。

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
受取手形	130百万円	167百万円
支払手形	452 "	439 "
設備関係支払手形	1 "	87 "

(四半期連結損益計算書関係)

- 1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
給料手当	528百万円	557百万円
賞与引当金繰入額	108 "	102 "
退職給付費用	25 "	21 "
貸倒引当金繰入額		20 "

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

- 1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
現金及び預金	6,705百万円	7,460百万円
預入期間が3ヶ月超の定期預金	216 "	582 "
取得日から3ヶ月以内に償還期限の到来する短期投資(有価証券)	500 "	600 "
現金及び現金同等物	6,989百万円	7,477百万円

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年6月24日 定時株主総会	普通株式	255	6.00	平成23年3月31日	平成23年6月27日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年11月1日 取締役会	普通株式	255	6.00	平成23年9月30日	平成23年11月30日	利益剰余金

当第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月22日 定時株主総会	普通株式	255	6.00	平成24年3月31日	平成24年6月25日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年10月30日 取締役会	普通株式	257	6.00	平成24年9月30日	平成24年11月30日	利益剰余金



(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	繊維事業	その他の事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	18,918	511	19,429		19,429
セグメント間の内部売上高 又は振替高	33	899	933	933	
計	18,952	1,410	20,362	933	19,429
セグメント利益	1,189	96	1,285	7	1,293

(注) 1 セグメント利益の調整額は、すべてセグメント間の取引調整であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	繊維事業	その他の事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	17,731	532	18,263		18,263
セグメント間の内部売上高 又は振替高	32	879	911	911	
計	17,763	1,411	19,175	911	18,263
セグメント利益	781	76	857	5	863

(注) 1 セグメント利益の調整額は、すべてセグメント間の取引調整であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(重要な負ののれん発生益)

「繊維事業」セグメントにおいて、株式会社パッツの全株式を取得し、連結子会社としたことに伴い、負ののれん発生益117百万円を当第2四半期連結累計期間において特別利益に計上しております。

(企業結合等関係)

当第2四半期連結会計期間(自平成24年7月1日至平成24年9月30日)

取得による企業結合

1. 企業結合の概要

(1) 被取得企業の名称及び事業の内容

被取得企業の名称	株式会社パッゾ
主な事業内容	紳士服の製造販売

(2) 企業結合を行った主な理由

製品事業の多角化を図ることにより、収益の拡大が期待できるため

(3) 企業結合日

平成24年8月13日

(4) 企業結合の法的形式

株式取得

(5) 取得した議決権比率

100%

(6) 取得企業を決定するに至った主な根拠

現金を対価とする株式取得

(7) 結合後企業の名称

株式会社パッゾ

2. 被取得企業の取得原価及びその内訳

取得の対価	現金	600百万円
取得に直接要した費用	アドバイザー費用	35百万円
取得原価		635百万円

3. 負ののれん発生益の金額、発生原因

(1) 負ののれん発生益の金額

117百万円

(2) 発生原因

受け入れた資産及び引き受けた負債の純額が株式の取得原価を上回ったため

4. 企業結合日に受け入れた資産及び引き受けた負債の額並びにその主な内訳

流動資産	872百万円
固定資産	728百万円
資産合計	1,601百万円
流動負債	276百万円
固定負債	572百万円
負債合計	848百万円

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額	20円49銭	18円64銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(百万円)	873	796
普通株主に帰属しない金額(百万円)		
普通株式に係る四半期純利益金額(百万円)	873	796
普通株式の期中平均株式数(千株)	42,646	42,712

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【その他】

第101期(平成24年4月1日から平成25年3月31日まで)中間配当について、平成24年10月30日開催の取締役会において、平成24年9月30日の最終の株主名簿に記録された株主に対し、次のとおり中間配当を行うことを決議いたしました。

配当金の総額	257百万円
1株当たりの金額	6円00銭
支払請求権の効力発生日及び支払開始日	平成24年11月30日

## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年11月12日

小松精練株式会社  
取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 坂 下 清 司

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 秋 山 高 広

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている小松精練株式会社の平成24年4月1日から平成25年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成24年7月1日から平成24年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成24年4月1日から平成24年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、小松精練株式会社及び連結子会社の平成24年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。  
以 上

- (注) 1．上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。  
2．四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。